

第三種郵便物承認 増刊HSK通巻4227号2016年1月21日発行

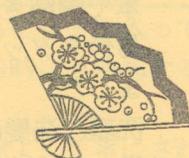
# 増刊HSK

## 会報「石川守る会」

## NO.73

石川県重症心身障害児（者）を守る会  
全国重症心身障害児（者）を守る会  
石川県支部 会長 山本 衛

新年 明けましておめでとうございます。



今年は暖冬で年明けから暖かな日が続いています。

会員の皆様方、お子様方お変わりございませんでしょうか。

暖かいとは言え風邪などはやっているようです。体調管理には十分ご注意下さい。

さて、「守る会」でも会員の高齢化や若い保護者の入会の減少が危惧されています。しかし、近年社会福祉に関する予算は毎年削減されていて、将来にわたって安心できる状況ではありません。

子どもたちが安心して暮らしていくためにも、子どもの思いを伝えられるのは私たちしかいません。

今年もお互いに協力しながら活動していきましょう！



昨年11月1日(日)本部の補助事業「在宅介護研修会」を医王病院のデイケアのお部屋をお借りして実施しました。

午前中はオークスライフケアさんに訪問入浴のデモンストレーションをして頂きました。

当日は実際の訪問入浴チームと同じスタッフ(看護師、ヘルパー2名男性オペレーター)4名の方が来て下さり2つに分けた浴槽を組み立ててお湯を張るところから見せて頂きました。

排水がスムーズに流れるか確認する人、出入り口の隙間を塞ぐ人と手際よく勧めていき、湯温の調節は熱いお湯のホースと水のホースの2本で調節されていました。

男性スタッフがモデルとなって実際に入浴サービスをして見せて頂きました。

洗顔、洗髪は念入りにされていて本人にも「痒いところはないか」「お湯の温度はよいか」など尋ねながら進めておられました。美容院に負けないくらいの研修をされているそうです。

身体もとてもいいねいに洗っていてシャワーの温度もその都度本人に確認しながら調節するなど配慮しておられました。

オークスライフケアでは訪問入浴については以下の点に留意されているそうです。

- \* スタッフの人数は4人(看護師、ヘルパー2名、男性オペレーター)
- \* 駐車場がない、部屋が狭い、10階に住んでいるなどの物理的条件にも工夫しながら対応している。
- \* 湯温の管理にこだわっている。入浴車両から常に熱いお湯(65度)から水までが瞬時に出せる。
- \* 洗髪を大切にしている。

昼食タイムはお弁当を食べながら、久しぶりに会う人たちもいてお互いに近況を報告し合うなどにぎやかに交流しました。

午後からは石川療育センター、ライフステージ、WACかがやきなどから相談支援専門員の谷村さん、田中さん、西脇さん、麻本さん、田端さんをお招きして保護者との懇談会をしました。

専門員のみなさんの自己紹介の後保護者のみなさんから質問や意見を出してもらいました。

西脇さん、麻本さんからはサービスを利用する時の様々な申請書類の説明がありました。田中さんからは各人の生活リズムに合った事業所と

第三種郵便物承認増刊 HSK通巻4227号 2016年1月21日発行

契約しホームヘルパーや生活介護や移動支援などを組み合わせて利用することも大切であると話されました。谷村さんからは多機能型の石川療育センターでの取り組みが話されました。

またそれぞれのサービスの利用回数や条件は各市町村によって違うので確認が必要であるとのことでした。

困ったことやサービス利用についての希望などがあれば、相談支援専門員の方に相談し自分たちに合った使い方を探ってもらったり、役所とのパイプになってもらったりすることもできるとのお話でした。

参加されたみなさんから感想を頂きました。

- \*入浴サービス初めて見させてもらいました。お風呂に入るときまた入ってからのこといろいろ参考になりました。家で自分が入れる時に「ああなるほど」といったことがあり、ありがとうございました。
- \*入浴サービスを実際に見たのは初めてでした。とても手際よく丁寧にされていて家族と入るよりも本人にとってはよいように思いました。しかし困っている人が思うように使えていない制度なようで残念ですね。
- \*初めて見ましたが思っていた以上に良かったです。人手があると本当にきれいに洗ってもらえるので使ってもいいかなと思いました。しっかり見て説明を受けて勉強になりました。ありがとうございました。
- \*訪問入浴の実際の様子がよくわしく分かり良かったです。看護師さんヘルパーさんの迅速・丁寧な介助に感心しました。
- \*久しぶりに参加して先生方のお話を聞いたり、意見交換ができてよかったです。今からは就活ですが本人の将来も考えて日々楽しく元気に過ごせる場所を探そうと思います。
- \*わが子が使っているサービス以外の話も聞いてよかったです。

## 第27回

### 東海・北陸ブロック大会に参加しました!!!

11月7日～8日に静岡県伊豆長岡で開催された「東海・北陸ブロック大会」に石川より山本会長、谷内さん、東さん、紺井さん、西田さんの5名で参加してきました。伊豆長岡は意外に遠く、北陸新幹線で東京まで行きさらに東海道新幹線で三島まで行きまた伊豆箱根鉄道に乗り換えてようやく着きました。会場の伊豆長岡総合会館アクシスまでバスで移動し、何とかシンポジウムに間に合いました。

## シンポジウム

### テーマ「もっとも弱いものをひとりももれなく守る」

まずNHK現代の映像「この子らのある限り～重度心身障害児の周辺～」の視聴から始まりました。昭和40年代に静岡県藤枝で起こった重症児のわが子を手にかげざるを得なかった事件とそのことに対する「守る会」の活動の記録でした。

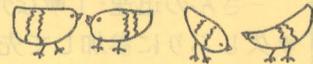
コーディネーター 小林不二也氏(映画「普通に生きる」のモデルとなったでら～との施設長)

### シンポジウム要旨

重症心身障害児(者)を守る会50年の歴史を振り返り、先人の活動が脈々と今に繋がっています。何もサービスがない時代に生まれた守る会。誇り高い三原則を掲げて活動し入所施設が整備され、通園事業が確立し、暮らしやすい環境ができつつありますが、守る会活動は設立当初の情熱や思いが繋がっているのでしょうか？若い世代の活動離れや入所と在宅の共通理解など守る会運動も大きい節目を迎えているのではないのでしょうか？

本年のブロック大会では5人のシンポジストがそれぞれの立場で重症心身障害児(者)と向き合い、守る会活動を振り返っていま私たちがどのような思いでどんな活動をどのような姿勢で取り組んでいくべきかを語り合いたいと思います。

### シンポジストの発表



#### ・増井 けさみさん(おおぞら分会)

2人の娘さんが重症児で現在はお姉さんが入所、妹さんが在宅で生活されています。お二人とも気管切開、経管栄養と医療的ケアが必要です。入所・在宅両方の良さも課題も体験しておられ、そんな中で保護者会や守る会の活動にも参加してこられました。

近年会員の高齢化や若い人の入会の減少に伴う将来への不安を感じておられるとのことでした。会を盛り上げるためHPを立ち上げたり、パンフレットを作って入会のお誘いをしているとのことでした。

#### ・藤田 明宏さん(天竜病院 保護者会会長)

天竜病院の家族会の会長として活動をしているが最近の活動に危機感を持っておられます。このままでは子どもたちの生活の質が保障されていくのかとても心配である。

高齢化した親に代わって兄弟が保護者になることもあるが、兄弟の想いは親とは少し違うところもあると感じておられるとのことでした。

・代田 安彦さん(伊豆分会)

H20年に立ち上げた伊豆分会に父親としてどのように関わってきたか、また父親としてできることは何かなどについて話されました。

伊豆地域の社会資源の少なさ、どこへ行くにも峠を越えなければならない大変さが語られました。そんな中で伊豆分会として研修会を開催し情報を共有しみんなで話し合い意思統一を図ってきた。会としてどのようなサービスを作る必要があるのか意見をまとめて行くようにしているとのことでした。



・若林 高至さん(伊豆の国市児童発達支援センターきららか施設長)

資源が乏しい伊豆半島でスーパーバイザーとして重症児(者)の実態調査をし課題を洗い出してその対策を考えておられる。養護学校の訪問卒業生の実態を把握しバラバラになっている保護者のグループを作り、情報交換できるようにしている。また事業所あっても実際には通えない現実もあるとのことでした。

・浅野 一恵さん(重症心身障害児・者施設つばさ静岡医療部長 医師)

食事を通して重症心身障害児者の人生を豊かにする工夫をされている。食事はただ命を繋ぐだけのものではなく、コミュニケーションであり、意欲を育て成長を促すものであると考えて取り組んでおられる。

食事に関して姿勢保持や椅子・クッション、食物の形態など様々な工夫をして本人との信頼関係のもとで最も楽しい時間になるよう心がけているとのことでした。



コーディネーター小林さんのまとめ

現在色々なサービスもそれなりに充実していて、若い人たちの入会の減少が起きているが、守る会としてはまだまだやるべきことはたくさんある。

毎年社会福祉費は削られていて「守る会」の役員は厚労省とも話し合いを持っている。黙っていて将来にわたって安心できる状況ではない。今年も報酬改定によって多くの施設や事業所は減収となった。

原点に戻って本人のことを知る人を多く作っていく活動が必要である。

物言わない人の代わりに関係者が議論をし本人にとって一番いいことは何か意見を出していく状況を作っていかなければならないと思う。

保護者会、守る会、事業所が緊張感を持った関係を保つことが大切であると思われる。

第三種郵便物承認 増刊HSK 通巻4227号 2016年1月21日発行  
保護者研修会

～ミニコンサート&パネルシアター～

親子で楽しいひとときを過ごしたいと以下の日程で企画しました。  
生の演奏とお話しや歌遊びを楽しみたいと思います。

日・時 平成28年2月21日(日)10:00～11:45

場 所 医王病院 中病棟3階地域医療研修室

日 程 10:00～10:45 ミニコンサート

ファゴットの西川さんたちが懐かしい曲や楽しい歌を演奏して下さいます。

11:00～11:45 パネルシアターと音楽遊び

明和特別支援学校の越野先生が楽しいパネルをして下さいます。  
病棟の人も、在宅の人もみんなで集まって楽しい時間を過ごしましょう!!!

昼食会のお知らせ

日・時 平成28年3月6日(日)12時～

場 所 KKRホテル金沢 白梅亭 TEL076-264-7857  
金沢市大手町2-32

会 費 2500円

申し込み 入所の方・・・松本さん・・・TEL283-4432  
在宅の方・・・紺井さん・・・TEL288-5413

\*申し込み締め切りは2月27日です。

\*多数の方の参加をお待ちしています。



編集人 : 石川県重症心身障害児(者)を守る会  
連絡先 : 929-0123 石川県能美市中町ツ88-1  
TEL 0761-56-0610  
会長 山本 衛  
発行人 : 北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉312番地  
定 価 30円